

いつも何度でも

よ 呼んでいる 胸のどこか奥で

いつも心 踊る 夢を見たい

かな 悲しみは 数え切れないけれど

その向こうできっと 貴方に会える

く 繰り返す 過ちの その度 人は

ただ青い空の 青さを知る

果てしなく 道は続いて見えるけれど

この両手は 光を抱ける

さよならのときの 静かな胸

ゼロになる体が 耳をすませる

生きている 不思議 死んでいく 不思議

花も風も街も みんな同じ

よ 呼んでいる 胸のどこか奥で

いつも何度でも 夢を描こう

かな 悲しみの数を 言い尽くすより

同じくちびるで そっと歌おう

と 閉じていく 思い出の そのなかにいつも

忘れたくない ささやきを聞く

こなごなに 砕かれた 鏡の上にも

新しい景色が 映される

はじ 始まりの朝の 静かな窓

ゼロになる体 満たされてゆけ

「千と千尋の神隠し」のED

よ 呼ぶ to call out.

かな 悲しみ sadness. 数え切れない countless.

む 向こう other side.

く 繰り返す to repeat. 過ち fault. その度 each time.

は 果てしなく eternally.

いだ 抱く to embrace; to hug.

す 済む vi. to finish.

い 言い尽くす to tell all.

くちびる 唇 lips.

と 閉じる vi. to close. 思い出 memories.

ささや 囁き whisper.

こなごな くだ 粉々に 砕く to smash into pieces.

うつ 映す vt. to reflect.

み 満たす vt. to satisfy; to fill.

うみ かなた さが
海の彼方には もう探さない
かがや
輝くものは いつもここに
わたし み
私のなかに 見つけられたから

かがや
輝く to shine.